

## 平成24年度 自然再生士資格試験 専門技術論述問題

以下の5問題の中から2問題を選択し、400文字以内で所定の用紙に解答してください。

### 問1 企画・計画分野

日本の国土には、森林、農地、湖沼、草原、湿原、湧水地、河川、海岸砂丘、干潟、藻場、サンゴ礁など多様な生態系が存在します。

以上のうちから、原則として1種類の生態系を取り上げ、①生物多様性という観点から見た現状（当該生態系の置かれた状況や問題点）及び②自然再生上の課題（技術的課題及び土地利用上や社会経済的な課題）について述べてください。（400字以内）

注1）上記の生態系の例示のうち、森林であれば二次林等に絞って述べても可

注2）里山のようにいくつかの生態系が複合したものについて述べても可

注3）②自然再生上の課題については具体的な事例をあげて述べても可

### 問2 設計・設計監理分野

丘陵地の造成により一部が埋め立てられた谷戸地形（谷津地形）について、小動物の生息が可能な再生計画が検討されています。埋め立てられた場所は、谷戸の中央部でかつて水田として利用されていた場所を、谷戸を横断するように土砂が投入されています。地形と水系を再生するため、具体的な設計を行う場合に配慮すべき点を述べてください。なお、具体的な種、例えば両生類・爬虫類・魚類などを取り上げて説明しても良いこととします。（400字以内）

### 問3 施工・施工管理分野

豪雨や増水などが引き起こすタイプの土砂災害の軽減効果が見込まれる山地の自然再生の施工・管理において配慮すべき点を述べてください。（400字以内）

### 問4 維持管理分野

道路や緑地ののり面の維持管理において、草本や木本植物の播種あるいは植付け後に他から侵入してきた植物群の制御管理について、特にのり面植生の管理目標との関係から配慮すべき点を述べてください。（400字以内）

### 問5 市民活動分野

植生管理計画を立てるときには、考え方の異なる市民の間の意見に折り合いをつける必要があります。市民参加で植生管理が行われているフィールドにおいて、大径木化した雑木林の一部の林床の藪を刈り払おうとするとき、提案者側の市民ないしは行政担当者もしくはコンサルタントとして、野鳥観察グループや哺乳類観察グループを含む藪が必要で減らしてはならないと考えている市民とどのように合意形成を行ったらよいか、提案者の立場を明確にして述べてください。（400字以内）